

# まちの出来事

## 道路整備の重要性を再確認 社会基盤整備を考える懇談会

西紋別地区の社会基盤整備を考える懇談会が10月4日、ホテルオホーツクパレスで開催されました。

この日は、200人が集まりました。基調講演に続き、意見交換には地元紋別から(株)北海民友新聞社会長小野哲氏がコーディネーターを務め、パネラーに出塚水産(株)代表取締役出塚容啓氏、オホーツク

のみちと未来を考える会会長田中夕貴氏のほか、東オホーツクシーニックバイウエイ連携会の高谷弘志会長と財団法人オホーツク地域振興機構の厚谷郁夫理事長も参加しました。

コーディネーターの小野氏は西紋の社会基盤整備を考えると、「医療面に大変不安がある。

一時間で医療機関に移動できるように紋別も道路整備が重要になる」と提言。地元から参加した出塚氏は、原料の仕入れや製品の出荷など物流面における道路の大切さを訴えたほか、田中氏は「JR名寄線が廃止になってから誰かが道路の整備をやってくれ」と思っていたが、今は、私達地域住民が黙ってはいけけない。医療の負担を軽減するために道路が重要。妊婦や透析患者などは生活するのがとても困難になってきている。みんなで『みち』のことに関心を持って取り組みたい」と地域の思いを代言している。



## 紋別オホーツクライオンズクラブと交流を深める オホーツク福祉園・こまくさ学園で 恒例の収穫感謝祭

オホーツク福祉園で10月4日、社会福祉法人紋別市百年記念福祉会が運営する同園とこまくさ学園による収穫感謝祭が開催されました。紋別オホーツクライオンズクラブの協力を得て毎年実施している恒例の感謝祭で、祭典のほかパークゴルフ大会や昼食パーティーなども行い交流を深めました。

収穫感謝祭では、上滑パークゴルフ場でパークゴルフ大会を開催。ライオンズクラブと両園の利用者あわせて約



50人がプレーを楽しみました。

## 天候にも恵まれ市中心部に賑わい 第15回もんべつグルメまつり

市中心部の活気を取り戻そうと昨年から市中心部で開催されている第15回もんべつグルメまつり(同実行委員会主催)が10月11日から3日間、氷紋の駅前市場で開催されました。初日のオープニングセレモニーでは、渡辺忠助実行委員長が「昨年に引き続き、会場を氷紋の駅前市場で開催することになり、場所は狭いですが賑やかな祭りになってくれればと願っています。グルメまつりは、オホーツク紋別の味覚を各地から来られた観光客の皆様や市民の皆様に堪能していただくとともに、紋別産品のPRと販路拡大を目的としています」と来場者に呼びかけました。

今年も、3大ガニとシヤケが当たる抽選会を実施したほか、例年同様にオホーツクパークキューコーナーも連日盛況でした。



## 日頃の成果を晴れ舞台で披露 市内小学校で学芸会

市内の小学校で学芸会シーズンを迎えています。10月12日には、潮見小学校(全校児童502人)で第58回学芸会が開催され、1年生から6年生の児童が劇や器楽演奏などを披

露。会場に集まった父母達を楽ませています。「みんながなかよくがんばれる学芸会」をテーマに開かれた学芸会は、それぞれ1年生が、鍵盤ハーモニカで

道立紋別病院や紋別市、紋別医師会、札幌医科大学医学部などが主催する「第9回オホーツク健康セミナー」が10月15日、文化会館で開催されました。札幌医科大学医学部・道民公開講座としても開かれたセミナーでは、道立紋別病院の高坂一副院長が「肛門の話」をテーマに、札幌大の常瀬規嗣教授が「生きるしくみ」の演題でそれぞれに講演され、会場に足を運んだ約200人の来場者も、熱心に耳を傾けながらベンを走らせていました。



## 来場者も熱心にメモ 第9回オホーツク健康セミナー

の器楽演奏に、歌や踊りを加えた総合劇「ともだちほしいなおおかみくん」からスタート。続いて、4年生が宮崎駿監督の映画「崖の上のポニョ」をはじめとするジブリ映画の音楽を演奏したほか、3年生は総合劇「ゲゲゲの鬼太郎」に挑戦。2年生も映画「スターウォーズ」などの曲を演奏し、5年生はグリーンコンサートで披露した2曲の合唱をはじめ、劇なども取り入れたステージを繰り広げました。

同じ日には沼ノ上小学校が、19日には紋別小、南丘小、元紋別小は小向小と合同で、26日には渚滑小、上渚滑小で開催される予定です。



このほど総務大臣表彰を受けた行政相談委員の政岡昭さん(落石町4)が10月22日、宮川市長を訪ねて受賞の報告を行いました。

行政相談委員は、市民から寄せられる行政機関などの業務に関する苦情の相談に応じ、必要な助言や通知を行う民間の有識者で、任期は2年。政岡さんは平成7年から務めており現在6期目で、昨年からは船山洋明さんと2人体制で、市民からの相談に応じて

## 行政相談委員の政岡昭さん 総務大臣表彰を受け市長訪問

います。

宮川市長のもとを訪れた政岡さんは「平成7年から歴代の市長さんから推薦を受けて続けさせてもらっています」と話し、国、道、市、民事の4分野にわたって市民から相談が寄せられている現状を説明。宮川市長は「政岡さんは温厚な人柄だから、市民も相談しやすいでしょう」とたたえ、棚橋総務部長も「行政相談委員の」定年は80歳ですから、まだまだがんばっても



「らいたいです」と激励していました。

道東6都市の町内会長が集う「第40回道東都市町内会長大会」が10月15日、市民会館大ホールで開催され、「心でふれあい、心がつながり、ぬくもりのある光るまちづくりをめざして」をテーマに各都市の代表者がそれぞれの取り組みについて報告。基調講演ではNHKプロデューサーの黒川敬さんが、「近所の底力 成功の秘訣」と題して、町内における様々な問題解決について紹介しました。

大会には各地域などから約

## 道東6市から300人が集う 第40回道東都市町内会長大会

300人が参加。紋別市町内会連絡協議会の島村洋四郎副会長の開会宣言で幕を開けた開会式では、大会長の坂豊實町内会連絡協議会会長が、相互扶助や連帯感の欠如、価値観の変化が急速に進んでいるとした上で「幾多の困難に立ち向かい、安心安全なまちづくりを進めることが大事」と挨拶しました。そして「互いに声をかけながら、高齢化社会に対応できるまちづくりを進めていきたい」と話していました。

